

# ＊ ＊ 広町の森・植物だより ＊ ＊

## #20 夏の終わり

2007年10月

鎌倉市七里ガ浜・角田

- \* 広町も秋らしくなりました。田んぼの稲も豊作、貴方がこの記事を読んでいらっしゃる今はもう稲刈りも済んでいることでしょう。畑のソバの花も今満開です。
- \* ミゾソバ、キンミズヒキ、タデ、ワレモコウなど秋らしい草花も増えてきました。
- \* 前回の「広町の森・植物だより」で畑の野菜の花をご紹介したところ、“畑がこんな花園になるとは驚きました”とのコメントをいただくなど、結構多くの方々に楽しんでいただけたようです。その際ゴボウの花のことに触れました。わたしはゴボウの花は知っていましたが、現物は見たことはなく写真はご紹介できませんでした。ところが嬉しいことに、タネを採るためゴボウの一株が残してあるとの連絡をいただき、早速デジカメを持って出かけました。
- \* 今回はそのゴボウの花・実と夏の終わり頃の広町で見た、比較的珍しい花の写真をお見せします。

(1) ゴボウ (牛蒡)      キク科ゴボウ属      多年草



広町の畑で 2007年8月31日



- \* 採種のため 1本だけ残されたゴボウ。
  - \* 人の背丈くらいある。
  - \* 花と実がついていた。
- (2007年8月末)



- \* 枯れた実を2つもらい割ってみた。
  - \* 中の種を数えたら、一つには64粒、もうひとつには66粒入っていた。
- (独り言：植物は不思議だ)

(2) ナンバンギセル (南蛮煙管) ハマウツボ科 一年生の寄生植物



竹が谷 2007年9月

- \* 変わった名前は、筒のような花が横向きに咲くその形体の連想からという。
  - \* ススキ、ミョウガなどの根によく寄生する。自分では葉緑素をもたず、宿主の栄養を拝借して生きている。たいていススキの根元近くなので、よく探さないと見られない。
- (独り言：植物は奇妙で面白い)

(3) ツルニンジン (蔓人参) キキョウ科 多年草



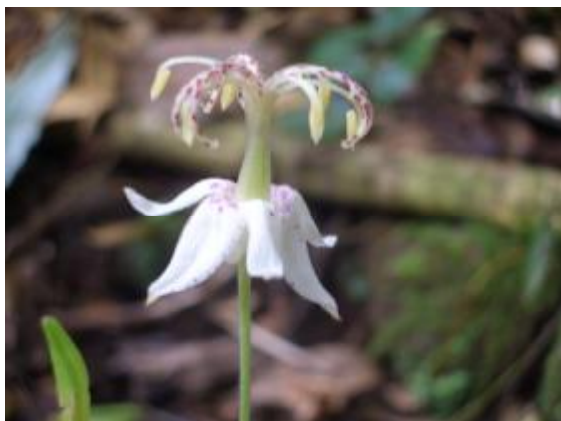
- \* つる性植物。根が朝鮮人参に似ていて、朝鮮人参の偽物として出回ることがある由。
- \* 花は予想外に大きく口径は3センチ内外。

小竹が谷にて 2007年9月

- \* 秋が深まると、やがて右のような星型の果実がぶら下がる。
- (2006年10月末撮影)  
(独り言：植物の変化は面白い)



(4) ヤマホトトギス (山杜鵑草) ユリ科 多年草



小竹が谷 2007年9月中旬



ホトトギス 2006年9月

- \* 鳥ではないのにホトトギス？名前の由来は、花の斑点（紅紫色の油点）が鳥のホトトギスの胸の斑点に似ているからだという。どうもしっくりしない？
- \* 右の小さい写真のホトトギスは従来からよく見られたが、このヤマホトトギスは今年初めて見つけた。(花被片が反り返るのが特徴)

(5) ミズキ (水木) ミズキ科 落葉高木



\*早春4月初め、下の写真のように房状に白い小さい花をいっぱいにつけていたのが、秋には熟して黒いつぶつぶになる。

(竹が谷 2007年9月中旬)



2007年4月

- \* 植物が花を咲かせ実を結ぶのは、動物に置き換えれば生殖行為と同じだ。植物は移動できないし、声も出せないが、懸命にそれぞれの方法を工夫して生きて子孫繁栄しようとしている。それが面白くて不思議でならない。このわたしの“不思議！面白い！”の気持ちがお伝えできたとすれば嬉しい。

(終わり)